

1. この会社が目指す姿が理解できるか

2, 3 ページには“ニューフジッコ”の加速と題して、「ブランド価値の強靱化」「生産性向上」「働き方改革」を柱としたフジッコの目指す姿について図を用いて説明されている。3 本柱それぞれで社員の扱いや、ブランドの価値、生産性を向上させることで3 本柱が互いに良い相関関係を築き、利益創出、企業全体としての「持続的な会社」を目指したさらなる向上を図るということが読み取れる。さらに、6 ページには「私たちの目指す姿」として「自然の恵みに感謝し 美味しさを革新し続け 全ての人々を元気で幸せにする 健康創造企業を目指します」と書いているためこれを読むだけでフジッコの目指す姿がわかるようになっている。それに加えて企業理念及び5つの行動指針も記載されているため、それらすべてを読むことでフジッコの目指す姿が細部までわかるようになっている。以上より、フジッコの目指す姿は明確に読み取れると考えられる。

2. この会社の競争優位性が理解できるか

4, 5 ページに創業からの業績推移、8 ページに事業の概況及び事業戦略が書いてある。業績推移は売上高のグラフとともに各年度の主力商品が記載されているため、売上高の伸びの理由までわかりやすいものになっている。

事業戦略として「ブランド価値の強靱化」「スター商品の拡大」がかかげられており、50 周年を迎えた「ふじっこ煮」「おまめさん」をはじめとしたさまざまな主力商品を「スター商品」として選定し、これらの拡大活動をしていくと記されている。「スター商品」はほかの会社にはないものばかりであり、ここから競争優位性を読み取ることができる。

3. その競争優位性に持続性があるかどうか理解できるか

フジッコの競争優位性である「スター商品」は開発されてから長い年月が経っていることも他と差別化できる要素となっており、今後も年月を重ねることでさらに優位性が高まるだろう。また、8 ページには事業ポートフォリオとして、各商品のこれから目指していく市場成長率、相対シェアが前期のものと比較して図で描かれている。今後は昆布事業、豆事業から創出するキャッシュフローをより強固なものにすることで将来への成長投資にすると説明されており、持続性、将来性があることが理解できるだろう。

4. この会社で自身の人的資本の価値向上を達成できると思うか

18, 19 ページには人材開発について書かれている。ここでは 2021 年度に新設された人

材コーポレート本部についての説明がされている。この組織は社員が働きやすい環境を作り出すために、テレワーク勤務制度やフレックスタイム制、さらには子育てや介護と仕事を両立できる制度を導入しているとのことである。ここからはフジッコが働き方改革を積極的に行っており、社員がストレスなく働ける環境があるとわかる。ストレスなく働ける、すなわち働きやすい環境が整っているということは、それだけ効率よくスキルの向上が見込めるといふことであろう。さらに、人材コーポレート本部は一人ひとりの適性やこれまでの経験からさらにスキルアップし、自分のキャリアを造りあげていけるように、社内インターンシップ制度や内公募制度も始めている。そのため、フジッコは自身の人的資本の価値を向上させるのに最適な会社とさえいえるだろう。この会社では十分に自身の人的資本の価値向上ができると考えられる。

5. 報告書にはどのような改善余地があるか

就職を考えている人へ向けて、どのような部署があり、どのような仕事をしているのか、どのような技術や能力を持つ人材が必要なのかを説明する項目を設けるとさらに良いのではないかと感じた。また、働き方改革として様々な制度の導入を目指すことや有給休暇取得率 60%を目指すことなどが目標として掲げられているが、前者についてはどの程度まで浸透させるのか、後者についてはいつまでにその達成を目指すのかを書くことさらに良いと感じた。

参考文献

フジッコレポート 2021

<https://www.fujicco.co.jp/corp/sustainability/upload/report2021.pdf>